

- ・プラネタリウム100周年記念イベント
- ・からくり時計の世界



「135°E」フォトスポット

プラネタリウム100周年記念イベント

「地上の星 ドイツに生まれて1世紀」

プラネタリウムは、天球儀と天体運行儀の考え方が合わさって作られました。電球を使って、丸いドームに星を映すという画期的なアイデアで誕生したのが、世界最初のプラネタリウム・ツァイスI型です。



ツァイスI型
©Deutsches Museum,Munich

球形のドームに星空を投影する近代的なプラネタリウムは、1923年にドイツ博物館で試験公開、1925年に一般公開され、100年の歴史が始まりました。

そこで、2023年10月21日から2025年5月7日にかけて、プラネタリウム100周年(The Centennial of the Planetarium)として世界的なイベントが国際プラネタリウム協会(IPS)とドイツ語圏プラネタリウム協会(GDP)の主催により行われました。日本でも、これに呼応して、日本プラネタリウム協議会(JPA)で実行委員会を組織し、さまざまな記念事業を行いました。

その中から、世界の記念事業と、日本の記念事業を2つずつご紹介します。

プラネタリウム100周年記念式典

2023年10月21日17:00(現地時)
日本時間10月22日0:00

ドイツで、ドイツ博物館(ミュンヘン)とツァイスプラネタリウムイェナを結んだ形でのプラネタリウム100周年記念イベントが行われ、中継の様子が全世界に配信されました。プラネタリウムショーのプレミア上映、基調講演、各プロジェクトの発表などが行われました。ミュンヘンの会場(ドイツ博物館)では、日本プラネタリウム協議会理事長であった毛利勝廣さん(名古屋市科学館)がグリーティングのスピーチを行いました、100周年を記念して販売されたミニチュアのプラネタリウム模型について紹介した際には、会場から拍手が起きました。



会場の様子



画像右:名古屋市科学館 毛利勝廣さん



▲映像はこちら

全国一斉プラネタリウム100周年記念イベント

2023年10月21日(土)19:00~19:50

プラネタリウム100周年のオープニングとして、日本全国のプラネタリウム館をZoomでつなぎ、当館の井上館長やコスモプラネタリウム渋谷の永田美絵さんの司会のもと、宇宙飛行士の山崎直子さんをゲストに迎え、プラネタリウムが誕生した100年前の星空をご紹介します。他にも、日本初のプラネタリウムである大阪市立電気科学館のツァイスII型の紹介中継や、世界のプラネタリウム関係者からのメッセージ、ドイツ博物館からのライブ中継と盛り沢山の内容でした。



▲映像はこちら

左上:ドイツ博物館からの中継 名古屋市科学館 毛利勝廣さん
右上:(左)コスモプラネタリウム渋谷 永田美絵さん、(右)宇宙飛行士 山崎直子さん
下:名古屋市立天文科学館 井上館長

プラネタリウム誕生100周年 国際記念オンラインイベント

2025年5月7日(水)18:00(世界標準時)
日本時間5月8日(木)3:00

国際プラネタリウム協会(IPS)が主催となり、ドイツ・イェナを皮切りに、チェコ、ケニア、コロンビア、コスタリカ、アメリカ合衆国、カナダ、ニュージーランド、タイ、そして日本と、世界のプラネタリウムをつなぐライブ中継が実施され、各地のプラネタリウムの取り組みが紹介されました。日本からは名古屋市立天文科学館が中継拠点として参加しました。YouTubeでご覧いただけます。



▲映像はこちら

全国一斉プラネタリウム100周年記念フィナーレイベント

2025年5月24日(土)19:00~19:50

プラネタリウム100周年のフィナーレとして、日本全国のプラネタリウム館をZoomでつなぎ、当館の井上館長の司会のもと、プラネタリウム100周年クイズや、世界のプラネタリウム関係者からのメッセージ、当日の星空のもと、大阪市立電気科学館のレトロ解説再現や全国のプラネタリウム館によるリレー投影などがあり、全国で盛り上がりました。



▲映像はこちら

▲全国各地の参加施設

プラネタリウム100周年記念イベントin明石

100周年をお祝いで、たくさんのイベントが天文科学館で行われました。2022年の100周年プレイベント期間から、2025年のフィナーレまで、100周年関連のイベントをまとめてご紹介します。



天文科学館展

2022年

10月7日~20日 **天文科学館展inあかし市民広場**

10月21日 **プラネタリウム99周年オンラインイベント**

日本のプラネタリウムはじまりトランプ製作
Carl Zeiss Jena UPP23/3ジグソーパズル&マグネット製作

12月20日 **明石市立天文科学館オリジナルカレンダー製作**



ジグソーパズル

プラネタリウムはじまりトランプ

2023年

2月26日 **ナイトミュージアム「古代ギリシャ・プラネタリウム」**

6月9日~11日 **特別展「天文時計の世界」**

7月8日 **セタナイトミュージアム**

7月11日~9月30日 **「プラネタリウムの思い出」作品募集!**

8月12日 **プラネタリウムマグネット&缶バッジ製作**

8月18日 **アトウッドタイププラネタリウム工作** **プラネタリウム100周年記念マグネット&缶バッジ**

9月15日 **プラネタリウムと一緒に百歳のお祝いを!**

9月22日 **ZEISS プロジェクター&ミニチュアモデル発売**

9月23日 **お月見ナイトミュージアム**

10月21日 **全国一斉 プラネタリウム100周年 記念イベント**
スペシャルライブ配信「みんなで見上げよう!100年前の星空」

12月3日 **はや2トークin明石**

ホームページで
工作用の型紙を
公開中▶



アトウッドタイププラネタリウム工作



ZEISS ミニチュアモデル



全国一斉 プラネタリウム100周年 記念イベント

2024年

7月20日~9月8日 **特別展「プラネタリウム博覧会**
~世界のプラネタリウム大集合~

10月19日 **「プラネタリウム100周年」×「すばる望遠鏡25周年」記念**
全国一斉オンライン講演会

2025年

2月24日 **「プラネタリウム100周年」×「すばる望遠鏡25周年」記念特別講演会**
「すばる望遠鏡で解き明かす元素の起源と宇宙の化学進化」

4月12日~6月1日 **特別展「プラネタリウム100周年×シゴセンジャー20周年」**

5月7日 **プラネタリウム誕生100周年国際記念オンラインイベント**

5月24日 **全国一斉プラネタリウム100周年フィナーレイベント(明石会場)**

オンラインイベントは
天文科学館YouTube
チャンネルにて
アーカイブを公開中▶



はや2トークin明石



プラネタリウム博覧会

詳しいレポートは過去の「星空のレシピ」のイベントレポートに掲載されています。星空のレシピのバックナンバーは、天文科学館3階や、ホームページでご覧いただけます。

特集 からくり時計の世界

天文科学館では、2025年6月7日(土)～7月13日(日)の期間、セイコーミュージアム銀座が所蔵するからくり時計を動態展示で紹介する、特別展「からくり時計の世界 セイコーミュージアム 銀座共同企画」を開催。特集では、特別展で展示したからくり時計を中心にからくり時計について紹介します。

セイコーからくり時計 セイコーからは、様々なからくり時計が登場しています。



セイコー「RE501B」



セイコー「RE502B」

1988年、セイコーから、家庭用からくり時計第1号のファンタジア(RE501)が発売されました。

1990年代、新しい機構に加え、FM音源ICの登場によりメロディや音色の幅が大きく広がりました。



セイコー「RE506B」



セイコー「RE538S」

2000年以降、電波時計の登場によりからくり時計に秒針が加わり、正時(0秒)ぴったりにパフォーマンスが楽しめるようになりました。



セイコー「RE561H」

置時計のからくり時計も作られました。



セイコー「HW479G」



セイコー「RE712G」

近隣のからくり時計

天文科学館の近隣にあるからくり時計を紹介します。

●大時計「マゼランくん」

神戸市中央区「さんセンタープラザ」京町筋2階に設置
1975年(昭和50年)のビル開業時から設置されています。30分ごとに作動します。ピエロがハンドルを回し、時計の内側がピカピカ光ります。「おお牧場はみどり」「家路」などの音楽が流れます。



●時を告げるモニュメント

神戸市中央区港島「ポートアイランド市民広場」に設置
毎正時(午前9時～午後5時)に作動します(ただし7～9月は午後6時)。鐘が鳴り終わると、神戸と姉妹都市、友好都市および姉妹港・友好港の民族衣装を着た人形たちが、それぞれの国の音楽に合わせて踊ります。



●からくり時計「森のなでしこ楽団」

神戸市西区「プレンティ」1階広場に設置
2023年に施設と共にリニューアルされました。毎正時(午前10時～)になるとPLENTEYの文字が光り、パネルとカプセルの中から楽器を持った人形たちが登場し、季節ごとの音楽を奏でます。春は、「春が来た」が流れていました。



●大本山須磨寺のからくり時計

神戸市須磨区「大本山須磨寺」納経所の壁面に設置
毎正時(午前9時～午後4時)に作動します。平敦盛、源義経、熊谷直実など須磨寺にゆかりの人物が、小坊主さんの読経と一絃琴のメロディーに合わせて登場します。



●義士あんどん・からくり時計

赤穂市加屋「息継ぎ広場」に設置
赤穂市制施行60周年を記念して設置されました。毎正時(午前9時～午後8時)に作動します。義士の音楽とナレーション付きで、からくり人形が忠臣蔵名場面「松の廊下」「はやかご」「勝どき」などを再現しています。時計台の三方には、赤穂市立歴史博物館所蔵の浮世絵が装飾されています。



▲映像はこちら



天文科学館では、他にも時計の展示があります。

●3階展示室 「時のギャラリー」

時計の動くしくみや制御方法、表示方法などを紹介する装置の他、精度の向上とともに時刻制度が変化していった時計の歴史を紹介しています。時計の歴史年表には、からくり時計も展示しています。



毎正時に、メロディーに合わせて人形がスウィングするからくり時計「セイコー スイングストップ RE508N」

ホイヘンスがひげゼンマイのテンプレ時計をつくったのが1675年。今年(2025年)は、ひげゼンマイができて350年の記念の年です。

●1階(屋外)



1階出口近くには水の流れて時を測る漏刻が設置されています。当館の漏刻は2025年で20周年を迎えます。

特別版 軌道星隊シゴセンジャー® おし てんもん教えて キッズコーナー

祝20周年！軌道星隊シゴセンジャーの活躍

軌道星隊シゴセンジャーは、時と宇宙を守るヒーロー。2025年で20周年を迎える！イベント開催時のキッズプラネタリウムに登場して、悪役・ブラック星博士と戦いながら、みんなに時や子午線、星空や宇宙のことを伝えているぞ。その活躍から明石市内やプラネタリウム業界だけでなく全国からのファンも多い。

これまでの“時と宇宙を守る明石のヒーロー”軌道星隊シゴセンジャーの活躍を写真とともに見てみよう！

ヒーローが登場するプラネタリウムってどんなプラネタリウム？

- ①解説員の鈴木さんが星空の案内をしていると、さむいダジャレとともに、ブラック星博士が登場。
- ②プラネタリウムの解説台をのったブラック星博士が、さむいダジャレで星空を解説したり、太陽を西から昇らせたり、星空をめちゃくちゃに。
- ③そこにシゴセンジャーブルーやレッドが登場！シゴセンジャーの得意技はシゴセンジャークイズアタック！クイズでブラック星博士と戦います。
- ④時には、元気な子どもたちの声に助けられながら、クイズ対決でブラック星博士をやっつけます。
- ⑤みんなで守った星空を見上げ、やがて日の出をむかえます。

2005年4月29日

2005年ゴールデンウィークに開催されたイベント「WAKUWAKU フェスタ」のキッズプラネタリウムに初登場！



ブルーの思い出

時の記念日のイベントで明石公園芝生広場のステージにブラック星博士とともに登場！時にまつわるクイズでブラック星博士と対決！会場の皆さんが力を貸してくれたおかげで無事に明石公園を守ることができたぞ！

2006年6月11日

時のウィーク・メインデーに出演（明石公園デビューを果たす！）

2006年12月4日

名古屋市科学館で開催された「全国プラネタリウム大会・名古屋2006」に登場！プラネタリウム業界への認知度が上昇する

2007年11月3日

東経135度子午線が通る友ヶ島にある友ヶ島灯台135周年記念イベントに登場



ブルーの思い出

2008年に私とレッドで子午線標識調査に出かけたんだ。ブラックはお留守番。国内子午線通過地最北端・網野町の標識で記念写真を撮ったんだ。仕方ないからブラックはパネルで写真に入れてやったよ。その時の写真は「わたしたちの明石」という小学生の教材に今も掲載させているぞ。

2008年8月29日

「軌道星隊シゴセンジャー」商標登録

2009年1月4日

ぐんま天文台で開催された世界天文年2009オープニングセレモニーに登場！12月6日には神戸市で開催されたグランドフィナーレにも登場

2009年6月21日

全国プラネタリウム大会・明石2009・プレイイベント「全国天文キャラクターシンポジウム」に全国から13の天文キャラクターが集結



2009年11月27日

明石警察署 年末特別警戒発隊式（明石公園第一駐車場）シゴセンジャーレッドとブルーが一日警察署長に！！



2012年8月13日

イベント「納涼フェスティバル」でシゴセンジャーピンクとイエローがデビュー。2013年7月にはシゴセンジャーグリーンとブラック星博士の子分が、2014年5月にはシゴセンジャーキッズがデビュー。



2013年4月27日

シゴセンジャーファンクラブ結成

ブルーの思い出

明石ケーブルテレビで、プロモーションビデオの撮影をしたぞ！カッコイイ映像ができた。見てくれ！



2014年4月5日

「月刊『星ナビ』5月号」より、連載「ブラック星博士のB級天文学研究室」がスタート

2015年5月9日

デビュー10周年記念イベント「10年間ありがとう。そして、これからも頑張っていま Show！」開催（会場：生涯学習センター・子午線ホール）



ブルーの思い出

2015年7月1日、天文科学館の大時計に「うるう秒」を挿入したぞ。地球はいつも同じ速度で回転しているわけではないんだ。「うるう秒」は、時刻のずれを修正するために大切なことなんだ。



2018年1月6日

いぬ年の冬場所のキッズプラネタリウムに、犬のキャラクター「しごまる」が初登場



2018年7月11日

小惑星「Shigosenger（シゴセンジャー）」誕生。11月11日には命名記念「関勉さん講演会」を開催



ブルーの思い出

2017～2018年にかけて、シゴセンジャーは日本の各地を訪れたんだ。福井県に石川県、福岡県と大活躍！もちろんブラック星博士も負けてない！！なんと2018年3月24日の福岡市科学館では、ブラック星博士のさむいダジャレのためか、プラネタリウムの音が鳴らないというアクシデントが発生！？でもその後無事に回復し、シゴセンジャーが星空を守ったぞ！



2019年1月12日

冬場所のキッズプラネタリウム「軌道星隊シゴセンジャー」に「シゴセンオー」が初登場シゴセンジャーのデザインが施された安全安心パトロール車のお披露目式



2019年11月2日

秋場所のキッズプラネタリウムに「ジャンボブラック星博士ロボβ」が初登場



2021年6月10日

シゴセンオーが、あかし時のまち大使に就任



ブルーの思い出

2020年頃、おうちで天文科学館をYouTubeで配信！コロナで外に出られず、退屈している人々に向けて、全6回の楽しい動画を届けたぞ。レッドの星座物語、ブルー体操、ブラックの天文クイズをお披露目！いや～、心も体もスカッとスカイブルー！



2021年7月3日

日本標準時制定135周年記念に天文科学館 × 山陽電車のコラボ電車「シゴセンゴー」運行（～9.30）。7月2日には、シゴセンオーが山陽電車「人丸前駅」の名誉駅長に就任



ブルーの思い出

2023年12月10日 五月山児童文化センターに初の遠征！にも関わらず、ご来館の皆さんがとても温かい声援を送ってくれたのは思い出深い！あの時の皆さんの笑顔と声援は今でもよく覚えているぞ！



2022年5月28日

天文科学館 × 山陽電車のコラボ電車「シゴセンゴー」を運行（～6.30）

2024年

皐月場所より「ブラックほしむすめ」初登場！軌道星隊シゴセンジャー＆ブラック星博士、デビュー19周年！



ブルーの思い出

2024年11月9日 西部図書館25周年イベントをお祝いし、西部市民会館のステージに登場！ブラック星博士も乱入し、どうなるかと思ったが、みんなと力を合わせたクイズアタックで見事に西部図書館を守ったぞ！





「宇宙の日」記念 作文絵画コンテスト

2月9日(日)

プラネタリウムドームで、「宇宙の日」記念作文絵画コンテストの表彰式を行いました。このコンテストは、9月12日の「宇宙の日」にちなんで開催されているもので、今回の作品テーマは「きみの考える宇宙ロボット！ー 宇宙に連れて行くきみの相棒ー」でした。天文科学館には合計248点の力作が寄せられ、その中から18作品が入選作品として選ばれました。表彰状と副賞の授与と同時に、入賞作品をプラネタリウムのスクリーンに映し出して紹介しました。

なお、絵画・中学生の部の高見さんの作品は、全国各科学館の最優秀作品が集まった中から理事長賞に選ばれました。



夕焼けパンダ見てみ隊

3月1日(日)

天文科学館から毎年3月1日と10月12日ごろの年2回のみ見ることが出来る「夕焼けパンダ」。今回は「夕焼けパンダ見てみ隊」隊員として、606名の応募者の中から抽選で20名の方が選ばれました。参加された方は、夕焼けパンダとなる仕組み、撮影秘話などを聞いた後、14階の展望室へ。

しかしながら3月1日当日の天候は何と「霧」。通常、霧は明け方発生しても、日が高くなるにつれ消えていきます。しかしこの日は珍しく夜まで濃い霧が続きました。そして残念ながら夕焼けパンダも霧の彼方...その姿を現すことはありませんでした。次回は完全な姿が見られるよう祈るばかりです。



天文科学館×あかし市民図書館コラボイベント「星空の下のおはなし会」

3月15日(日)

天文科学館とあかし市民図書館とのコラボで「星空の下のおはなし会」を開催しました。前半は、プラネタリウムの星空の下で、あかし市民図書館の朝霧さん、楠さんに絵本の読み聞かせをしていただきました。選んでいただいた本は、谷川 俊太郎さんの絵本「ほしにむすばれて」と、ロシアの民話「ひしゃくぼしのおはなし」です。場面ごとに、夕暮れの空、満天の星、天体写真等を投影し、プラネタリウムの星空で絵本の世界を表現しました。後半は、クイズをまじえながら、星に関する本のブックトークをお楽しみいただきました。



移動式プラネタリウムがやってくる

3月25日(火)

昨年に引き続き、イオン明石ショッピングセンター1階の催事スペースで「移動式プラネタリウム」を実施しました。事前予約をいただいたお客様と共に、明石でその日見ることが出来る星空や、南の国の星空を見上げました。全6回の投影はほぼ満員と大盛況でした。

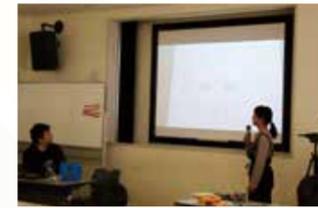
近くには飲食店やキッズスペースもあり、通りがかったお客様にも興味を持っていただいたようです。普段、天文科学館を訪れることが難しい方にも、当館やプラネタリウムの星空を身近に感じていただけるような企画を今後も実施していきたいと思っています。



「SORA-Q」につづけ！月探査機ワークショップ

3月28日(金)

「SORA-Q」は、2024年にSLIMと一緒に、月に行った変形型月面ロボットです。タカラトミーのSORA-Q プロジェクトリーダー赤木謙介さんに、開発の裏話などを聞かせていただきました。お話の後はSORA-Q Flagshipmodelの操作を体験し、参加者の皆さんには、未来の月探査機を考えていただきました。最後には、皆さんの描いた未来の月探査機を、赤木さんに講評していただくという、貴重な体験をしていただきました。赤木さんからの子ども達へ向けた「今回のワークショップのように”初めてのこと”にどんどんチャレンジしてほしい」などの熱いメッセージに、スタッフである私たちも大変感動しました！



令和7年度 一日館長

4月20日(日)

科学技術週間関連行事として実施している「天文科学館 一日館長」。明石市内の小学6年生9名が一日館長として活動しました。館内放送でお客様に向けて天文科学館のおすすめについて話したり、プラネタリウムドームで投影前の挨拶を行ったりするなど、普段行うことがない場面に皆緊張しつつも、楽しく、立派に一日館長としての仕事を行いました。一日館長として活動することで、より当館や天文、科学技術に親しみをもていただけたのではないのでしょうか。



シゴセンジャーファンクラブイベント

3月29日(土)

軌道星隊シゴセンジャーファンクラブ会員を対象とした特別イベントを行いました。夏に予定されていたファンクラブイベントが台風の接近で中止となったため、約1年ぶりの開催となりました。

プラネタリウムドームに、シゴセンジャーレッドとブルー、ブラック星博士が登場。シゴセンオーや新しく登場したブラック星むすめも加わり、一年間の活躍を振り返りました。ドームでのイベントが終了した後は、シゴセンジャーやブラック星博士との撮影会が行われ、参加された方々と大いに盛り上がりしました。



キッズプラネタリウム 軌道星隊シゴセンジャー 隼月場所

5月10日(土)・11日(日)

プラネタリウムにブラック星博士がやってきて時空をゆがめ、太陽が西から昇ってしまう事態に...。そこにシゴセンジャーが登場し、来場者と力を合わせてブラック星博士に勝利！太陽は元通り西へ沈み、明石の街は守られました。

シゴセンジャーの登場20周年ということで、20年前のなつかしい掛け合いやクイズを楽しみました。なんと、20年前にも会場にいたという方もいらっしゃいました。これからもシゴセンジャーの応援をよろしくお願いいたしますね。

隼月場所より、2025年度のファンクラブ会員の募集を開始しました。お申し込みをお待ちしています。



「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

2025年度 明石市立天文科学館

星の友の会 会員募集!

※詳しくは、HPをご覧ください。

年会費

個人会員：2,000円 ※小学4年生以上 (10/1以降の入会は1,000円)

家族会員：3,000円 ※同居している家族 (10/1以降の入会は1,500円)

特典

- ★年間の星の友の会行事への参加回数に応じてお楽しみプレゼント (4回・8回/例会・友の会天体観望会・野外天体観測会など)
- ★例会の開催 (例会参加時の入館料は無料)
- ★野外天体観測会・施設見学会等の開催 (別途費用が必要)
- ★天文科学館の天体観望会の参加費無料
- ★星の友の会天体観望会も開催
- ★友の会会報「135°の星空」の発行・配布
- ★館広報誌「星空のレシピ」の配布、イベント等も随時お知らせ
- ★天文科学館ボランティア『天ボラ』に参加できます

館長コラム

2ページでも紹介しましたが、「プラネタリウム100周年」は2025年5月でフィナーレを迎えました。5月7日に国際的な企画、24日に国内企画が実施されました。国際企画はオンライン・イベントで、世界各国のプラネタリウムを結び、リレーでメッセージを送り届けました。時差の関係で配信は午前3時。集まった関係者による熱烈的なアピールは世界のプラネタリウム関係者からも好評でした。特にシゴセンジャーがウケたようです笑。24日の全国一斉フィナーレイベントでは、全国30館のプラネタリウムをZoomで結びました。2314人の参加者がありました。海外からのメッセージ、クイズ大会。全国星空解説リレーといった充実した内容でした。私は司会進行を担当しましたが、参加館からも盛り上がったとの報告があり、ほっとしました。みなさんに感謝！プラネタリウム100周年はフィナーレを迎え、次の100年が始まりました。これからどうぞお楽しみに！



全国一斉フィナーレイベント

プラネタリウム一般投影 解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったお話をわかりやすく紹介します。

七夕伝説と銀河

7月1日(火)~7月31日(木)

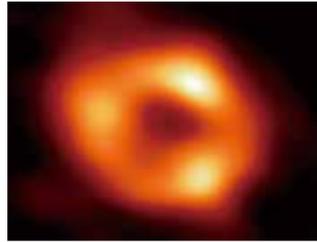
日本各地には、様々な七夕伝説が、語り継がれています。また、織姫、彦星の間には、天の川が流れています。天の川の正体は、銀河系と呼ばれるたくさんの星の集まりです。各地に伝わる七夕伝説や私たちの銀河系について紹介します。



ブラックホール旅行ガイド

8月1日(金)~8月31日(日)

宇宙にはたくさんのブラックホールがあります。ブラックホールはどのような天体でしょうか。近づくとうなるのでしょうか。ブラックホールについてご紹介します。



銀河系中心のブラックホール©EHT Collaboration

月に行って地球を見る

9月2日(火)~9月30日(火)

月は、地球の周りをまわる衛星です。NASAは、再び人類を月に送る計画を進めています。火星もフォボスとダイモスという衛星を持っています。日本では、フォボスから、サンプルリターンを行う計画が進行中です。太陽系のそれぞれの衛星から見る地球や、衛星の探査計画を紹介します。



©JAXA/NHK

キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日と学校長期休業中の第2回目と第4回目の投影に実施します。

たなばたアワー

6月3日(火)~7月6日(日)

たなばたの物語や、夏の星座、宇宙についてわかりやすくお話しします。

● 日程：
平日 9時50分~11時10分~
土日 11時10分~14時30分~



* 平日は団体予約がある場合のみ投影があります。
* 6月10日は時の記念日のため「たなばたアワー」はありません。

あまのがわのひみつ

7月12日(土)~8月31日(日)

街明かりが少ないところで星空を見ると、ぼんやりと白く輝く天の川を見ることができます。夏の星座や、天の川についてお話しします。



* 7月19日(土)~21日(月・祝)の11時10分~は、「軌道星隊シゴセンジャー(事前申込制)」のキッズプラネタリウムになります。

おつきみアワー

9月2日(火)~9月30日(火)

身近な月について、わかりやすくお話しします。当館のねずみのキャラクター「ちよろすけ」も登場し、一緒に月旅行をします。また、季節の星座や、日本に伝わる月の物語「かぐや姫」も紹介します。

● 日程：
平日 9時50分~11時10分~
土日 11時10分~14時30分~



* 平日は団体予約がある場合のみ投影があります。

こども天文教室

最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。

・7月26日(土) 「夏の星と天の川」
・9月20日(土) 「世界の星空」
各日9:50~
※年齢に関係なく参加できます。



ベビープラネタリウム

乳幼児(0~4歳くらいまで)のお子さんと保護者の方が対象のプラネタリウムです。親子で一緒にプラネタリウムをお楽しみください。

● 事前申込
● 日程：
・7月12日(土)
・9月6日(土)

● 参加費：入館料のみ

10時~ 投影時間約30分

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と星空をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。

● 事前申込
● 日程：
・9月13日(土)13時10分~

詳しくは当館ホームページをご覧ください。



その他のイベント

軌道星隊シゴセンジャー

キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場!

● 事前申込

● 夏場所
・7月19日(土)~21日(月・祝)
11:10~

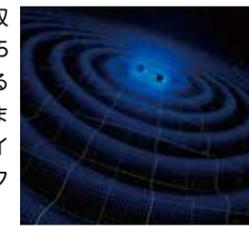
詳しくは当館ホームページをご確認ください。



極限時空・ブラックホールと重力波

7月19日(土)~9月7日(日)

ブラックホールは極めて高密度で光さえ吸収するほどの大きな重力を持つ天体です。2015年にはブラックホールの合体によっておこる時空のゆがみの波である重力波が観測されました。重力波検出装置に使われる人工サファイアミラーなどの貴重な資料とともにブラックホールと重力波の最新研究にせまります。



特別展

「からくり時計の世界」セイコーミュージアム銀座共同企画

6月7日(土)~7月13日(日)

セイコーミュージアムは、時と時計に関する資料・標本の収集・保存・研究を行う博物館です。日時計から和時計まで広く時計の歴史を紹介しています。セイコーミュージアムとコラボし、時に関する貴重な資料や、写真・パネルなどを展示します。



夏休み・児童生徒作品展~小学生の部~

9月13日(土)~9月28日(日)

小学生が、夏休みに制作した作品を展示します。



* 中学生の部は10月10日(金)~10月13日(月・祝)にあかし市民広場で実施します。

Event Calendar

7月	8月	9月
<p>7月1日(火)~7月31日(木) 「七夕伝説と銀河」</p> <p>7月6日(日) 「たなばたアワー」</p> <p>7月12日(土)~8月31日(日) 「あまのがわのひみつ」</p> <p>7月19日(土)~9月7日(日) 「極限時空・ブラックホールと重力波」</p> <p>7月26日(土) 「夏の星と天の川」</p> <p>7月26日(土) 【事前申込】</p> <p>7月5日(土) 「七ツナイトミュージアム」【事前申込】</p> <p>7月12日(土) 【事前申込】</p> <p>7月19日(土)~21日(月・祝) 11:10~【事前申込】 「軌道星隊シゴセンジャー夏場所」</p>	<p>8月1日(金)~8月31日(日) 「ブラックホール旅行ガイド」</p> <p>8月2日(土) 【事前申込】</p> <p>8月2日(土) 【事前申込】</p> <p>8月9日(土) 【事前申込】</p> <p>8月23日(土) 【事前申込】</p> <p>8月30日(土) 【ファンクラブ会員】※当日入会可 「シゴセンジャーファンクラブイベント」</p> <p>9月6日(土) 【事前申込】</p> <p>9月13日(土) 13時10分~ 【事前申込】</p> <p>9月27日(土) 「お月見ナイトミュージアム」</p> <p>9月20日(土) 【事前申込】</p>	<p>9月2日(火)~9月30日(火) 「月に行って地球を見る」</p> <p>9月2日(火)~9月30日(火) 「おつきみアワー」</p> <p>9月13日(土)~9月28日(日) 「夏休み・児童生徒作品展~小学生の部~」</p> <p>9月6日(土) 【事前申込】</p> <p>9月20日(土) 【事前申込】</p>

休館日のお知らせ

7	8	9
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5	1 2	1 2 3 4 5 6
6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13
13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20
20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27
27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30

青文字：開館
赤文字：休館

天体観望会の実施日・申し込みについて

- ◆実施日時・申込方法の詳細についてはホームページをご覧ください
- ◆参加費 1人 300円
- ◆駐車場ご利用の場合は別途200円必要です

Information ご利用案内

■プラネタリウム投影開始時刻

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 <small>団体予約がある時のみ</small>	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝 及び 学校長期休業中	9:50	11:10 <small>キッズ プラネタリウム</small>	13:10	14:30 <small>キッズ プラネタリウム</small>	15:50

■休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始

ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は閉館し、翌日が休館となります。年末年始の営業についてはホームページ等をご覧ください。

※臨時閉館・休館あり(ホームページ等でお知らせします)

■開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

■観覧料

	大人(高校生以下無料)
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。

※高齢者割引、障害者割引を行っています。

※明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円(65歳以上)が無料になります。

※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

■駐車場

普通自動車・マイクロバス(約90台):2時間まで200円(以降1時間ごとに100円)／大型バス(8台):1回1,500円

■施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。

■交通のご案内



- JR明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C.から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

<https://www.am12.jp/>
 X(旧ツイッター)@jstm135e
 〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
 TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
 e-mail: otoiwase-tenmon@city.akashi.lg.jp



時間、それは宇宙からの贈りもの

上空2万kmの彼方のGPS衛星で刻まれる10万年に1秒の高精度。
 宇宙とつながり、時を知る。衛星電波クロック「セイコー スペースリンク」シリーズ。

SEIKO

お問い合わせ先: セイコータイムクリエーション株式会社 クロックお客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:00 土・日・祝日を除く) <https://www.seiko-stc.co.jp/>

